

4 トピックス

(1) (農) 八女美緑園製茶、内閣総理大臣賞を受賞！

令和2年11月23日(月)、東京都で開催された「令和2年度農林水産祭」において、多角化経営部門で農事組合法人八女美緑園製茶(代表理事組合長江島一信氏)が内閣総理大臣賞を受賞されました。

八女美緑園製茶は5戸の茶専業農家が、高品質茶生産を合い言葉に特に土づくりにこだわった茶園管理と直売による新たな経営発展構想に賛同し、結成した農事組合法人です。抹茶の需要にいち早く対応して高収益な碾茶生産に取り組むほか、幹線道路沿いに設けた直売店での販売、隣接するカフェの運営、さらに輸出茶の生産など経営の多角化を行ってきました。

その結果、厳しい茶業情勢の中でも安定した売上を確保され、強固な生産基盤の上に5戸の後継者全員が就農し、消費者ニーズに対応した販路開拓の実践が評価されました。



八女美緑園製茶構成員

(2) 福岡八女農業協同組合かんきつ部会が農林水産省生産局長賞を受賞！

令和2年度に開催された「第22回全国果樹技術・経営コンクール」において、福岡八女農業協同組合かんきつ部会が、農林水産省生産局長賞を受賞されました。

同コンクールでは、果樹農業の新たな発展のため、技術や経営改善が先進的で他の範となる農業経営体及び集団組織に対して表彰が行われています。

同部会は、平成12年の4部会の合併・発足以来、温州ミカンの露地栽培にハウス栽培や貯蔵の「蔵出しみかん」を組み合わせた長期リレー販売を実現し、非破壊センサー選果による高品質ブランド「華たちばな」の販売に取り組んできました。また、大規模な園地基盤整備や高品質ミカンの生産につながるマルチ栽培の導入、部会全体でのGAPへの取り組みなど、生産基盤の強化と安全安心なブランドの確立を進めてきました。

これらの取り組みは、県内外から多くの視察が訪れるなど、他産地の模範となり、地域農業の活性化と果樹農業の発展に大きく貢献してきたことが高く評価されました。



かんきつ部会役員と鶴木組合長

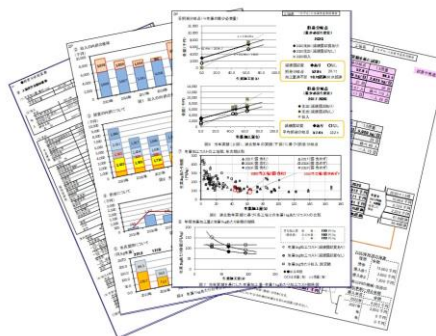
(3) 中山間地域茶共同工場の運営改善支援活動

管内中山間地域の茶生産者の多くは栽培面積が比較的小さく、緑茶生産に必要な荒茶加工施設の運営形態としては共同利用が主となっています。近年、生産者の高齢化や荒茶販売価格の下落の影響により、多くの工場で受益面積やオペレータが急速に減少しており、運営の継続が懸念されています。

普及センターでは、JAが毎年実施する共同工場運営相談会において、参加した工場へ運営状況の把握や運営改善に向けた助言等の支援を行っている。また、当年度は共同工場自身が改善への具体策を検討できるよう、診断内容の充実化に取り組みました。



診断結果を説明する普及指導員



充実を図った診断資料

(4) 筑後ブロック農業青年技術交換大会を開催

令和2年12月9日(水)に、筑後ブロック農業青年技術交換大会を開催し、八女地区と南筑後地区から19人の4Hクラブ員が参加しました。この大会は(公財)福岡県農業振興推進機構と福岡県(南筑後普及指導センター、八女普及指導センター)の共催により、4Hクラブ員の自己研鑽と交流を目的に毎年開催しています。

技術競技では、農業の経営と技術に関する知識についてクイズ形式の個人競技とチーム競技を行い、日頃より習得した知識を競い合いました。その結果、優秀賞を城戸翼氏(筑後市)、優良賞を肥後橋謙士朗氏(みやま市)、江島啓一氏(八女市)、センター長賞を末継裕一郎氏(八女市)がそれぞれ受賞しました。クラブ員からは、「個人競技の問題が難しかった」、「チーム競技はメンバー同士で意見を出し合えて楽しかった」などの感想が聞かれました。

技術競技終了後には、八女グリーンボールでスポーツ交流会を行い、クラブ員同士の交流をさらに深めました。



技術競技(チーム)の様子

(5) 大豆新品種の作付面積拡大へ向けて

令和2年産大豆新品種「ちくしB5号」の検討を、筑後市の農事組合法人 富久にて行いました。本品種は、福岡県農林業総合試験場が育成したものです。

試験場のデータによると、「ちくしB5号」は、「フクユタカ」と比較して、収量が約8%多く、最下着莢高が3cm程度高く、収穫ロスが少ない品種です。近年、管内では大豆の収量が低下しており、収量向上対策として、現地での品種比較試験を実施しました。坪刈の結果(10a当り収量)は、慣行品種のフクユタカが304kgに対して、ちくしB5号は314kgで、10kgの増収効果が見られました。

また、ちくしB5号の大粒比率は、約50%でフクユタカより14%高く、青立ち株がほとんど出ず、最下着莢高は2.8cm高くなりました。品質は1等でした。法人の組合長からは、「フクユタカより刈取ロスが少なく、収量も高い良い品種だ。」という意見をいただきました。



ちくしB5号収穫風景

(6) 八女の花を紹介する「FLOWER GUIDE BOOK」完成！

八女地域は、電照菊をはじめガーベラやユリ、バラ、草花類など多種多様な花が栽培されており、花の一大産地となっています。しかし、生花店に八女がキクの産地だということは知られていても、それ以外の品目についてはあまり知らないということが多く、地域として花全体の販売PRが上手くできていませんでした。

そこで、八女の花を地域ブランドとして認知してもらうため、八女地域で生産される花の紹介をはじめ、高品質生産技術や選別方法など生産者が取り組んでいるアピールポイントを盛り込んだガイドブックの作成を八女普及指導センターが提案し、関係機関と連携して完成させました。新型コロナウイルスの影響で販売促進活動が中止や延期になっていますが、PR活動ではガイドブックを活用し、新たな顧客獲得を目指します。



作成したガイドブック (計19ページ)